

サクッと学べる 「歯科×食」の健康講座

～ 歯科診療に食事相談を組み込むことで実現する 健康について楽しく解説します ～



口腔機能と全身疾患との関連

咀嚼や嚥下だけが食べる機能ではなく、当然のことながら全身的要因が大きく関与します。『MEALS ON WHEELS』というフレーズをご存じでしょうか？直訳すると、「車輪に乗った食事」となりますが、これは、食べることが難しくなった高齢者に対して、その要因を鑑別・整理する際に検討すべき項目の頭文字を並べた語呂合わせです。



M	Medication	薬剤
E	Emotional problems, especially depression	情緒障害（特にうつ病）
A	Anorexia nervosa, Alcoholism	神経性食欲不振、アルコール依存
L	Late life paranoia	老年期妄想
S	Swallowing problems	嚥下障害
O	Oral factors	口腔機能の低下
N	No money	経済的貧困
W	Wandering and other dementia-related behaviors	認知症など行動異常
H	Hypothyroidism, Hyperglycemia	甲状腺機能低下症、高血糖
E	Enteral problems	胃腸障害
E	Eating problems	自力摂取困難
L	Low salt, Low cholesterol	過剰な栄養制限食など
S	Shopping problems, Social Problems, Isolation	買物弱者、社会的問題、孤独

このように、薬剤の副作用や心因的問題、認知機能、内科的疾患、提供食品の質、介護・療養環境によって食べることは影響されるため、医科歯科連携で多職種の協力が必要だと言われています。これらを総合的に検討したうえで、口腔や咽頭の機能を併せて評価することが重要です。



記事

長谷剛志先生

公立能登総合病院 歯科口腔外科 部長

発行：森永乳業クリニコ株式会社
クリニコ認定栄養ケア・ステーション